



九州地区の高校生による「省エネ政策 提案型パブリック・ディベートコンテスト」で 城東高校が準優勝に輝きました！

議論の場～未来社会のあり方を考え、さらに「徹底した省エネ」を実現するために、日本政府が取るべき政策～



九州地区の高等学校 6 チームが出場した「省エネルギー政策提案型パブリック・ディベートコンテスト」で、福岡工業大学附属城東高校 1 年生のチームが見事準優勝に輝きました。「全世帯へのスマートメーター設置の義務化」を提案し、消費電力削減に向けて市民一人ひとりの行動の変化を呼びかけた政策とチームメンバーのハイレベルなディベートスキルによって予選 2 試合を勝利した城東チームは、決勝戦で予選トップ通過の宮崎西高校と対戦。会場参加者による投票の結果 64 対 53 で惜敗したものの、常勝宮崎西高校に引けを取らない、聴きごたえ十分の素晴らしい試合を展開しました。メンバー 10 名の努力は勿論、昨年善戦しながらも決勝にあと一步届かなかった 2 年生のアドバイスが大きな力となって、今回の素晴らしい結果に繋がったようです。指導にあられた先生方を含む「チーム城東」の皆さん、来年は「優勝」の報告を期待しています！！ (大学・地域連携推進室)



(決勝戦のメンバーの様子、左から先攻チーム政策提案への質疑意見交換、後攻チーム政策提案、政策提案に対する質疑意見交換、論点明示と政策再提案)

この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-28-261
 1月11日～26日